

デマンド交通の実証実験について

○デマンド型交通実証実験の概要○

- ・市東部において、N-バスの代替手段（東部線、三ヶ峯線）としてデマンド交通を導入。  
デマンド交通の利便性は西部のN-バスと同等程度とする。
- ・計画事業「(2) ③新たな移動手段導入の検討」に基づき事業を実施

○目的○

- ・N-バス全体の利用者数が少ないこと、また、市東部を運行するN-バス東部線、三ヶ峯線の利用が他路線と比較しても少ないことを課題と認識
- よりニーズに応じた運行が可能であるデマンド交通を導入し、下記の実現を目指す
  - ① 東部に住む市民の移動を支える
  - ② 市民の公共交通利用増加を目指し、より便利で持続可能な交通を構築する

○N-バス東部線、三ヶ峯線の利用状況○

- ・東部線：利用実績が他路線と比べ、約 10 分の 1 程度（1 日平均利用者数）
- ・三ヶ峯線：三ヶ峯ニュータウンに住む小学生の通学利用が全体の約半数（月別利用者数）

図 N-バスの路線別利用実績(R4年度における1日平均利用者数)

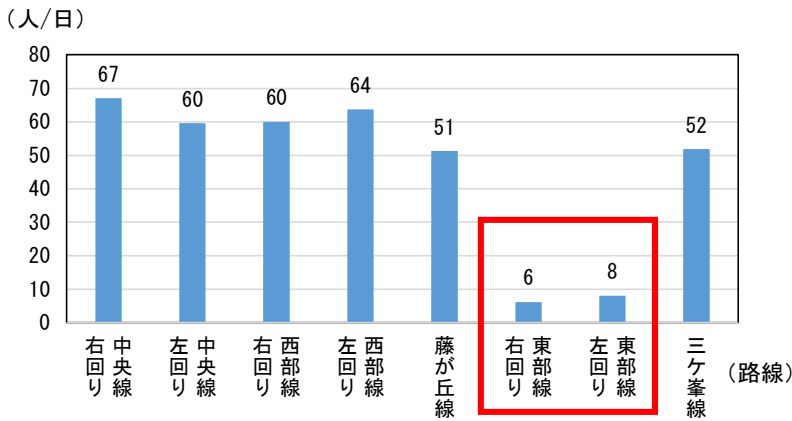


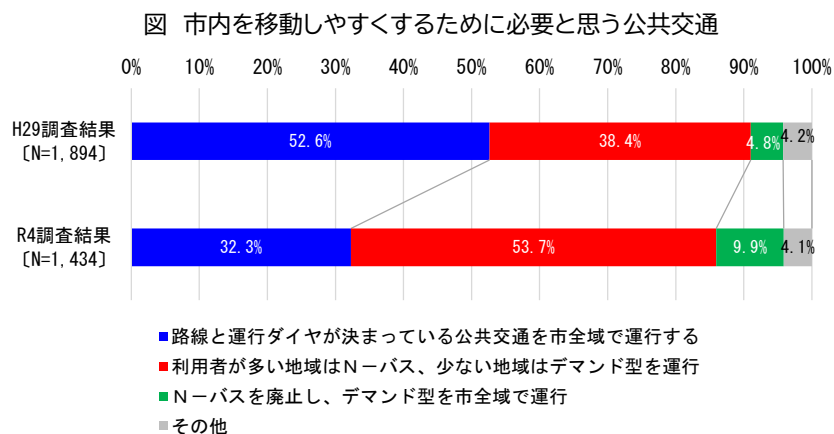
図 N-バスの路線別利用実績(R4 年度における月別利用者数)

(令和4年度)														単位:人	
路線名	便数(本)平日	便数(本)土日祝日	4月(30)	5月(31)	6月(30)	7月(31)	8月(31)	9月(30)	10月(31)	11月(30)	12月(30)	1月(28)	2月(28)	3月(31)	計(361)
中央(右)	7	5	1,999	1,898	2,134	2,260	1,937	1,924	2,174	2,170	2,056	1,688	1,836	2,117	24,193
中央(左)	6	4	1,715	1,611	1,924	1,992	1,889	1,806	1,874	1,738	1,791	1,543	1,650	1,970	21,503
西部(右)	6	4	1,673	1,759	1,909	1,955	1,925	1,821	1,895	1,825	1,805	1,577	1,648	1,879	21,671
西部(左)	7	5	1,845	1,799	2,028	2,089	2,098	1,849	2,020	1,989	1,839	1,738	1,707	1,987	22,988
藤が丘	5	5	1,437	1,501	1,635	1,609	1,450	1,562	1,582	1,571	1,527	1,424	1,521	1,694	18,513
東部(右)	3	2	193	168	187	177	217	191	207	189	143	148	193	209	2,222
東部(左)	3	3	207	245	286	252	278	250	263	221	259	195	221	246	2,923
三ヶ峯線	5	4	1,594	1,558	1,760	1,538	780	1,701	1,736	1,747	1,491	1,543	1,668	1,605	18,721
計	42	32	10,663	10,539	11,863	11,872	10,574	11,104	11,751	11,450	10,911	9,856	10,444	11,707	132,734

○デマンド交通に対する市民の意識○

1 R4年度「公共交通に関する市民アンケート」

「今後のNーバスのあり方について、今後高齢化が見込まれる中、市内を移動しやすくするために必要と思う公共交通」について調査したところ、5年前と比べ、デマンド交通導入に対する賛成の割合が増加していた。



2 R5年度「計画づくりのための市民ワークショップ」

- ・Nーバスの困りごと：移動したい時間に合う便がない、行き先と運行ルートが一致しないこと、バス停までの距離が遠いことなどが多く挙げられた。
- ・公共交通をより使いやすくするための案：日常の細かな移動へ対応するため、デマンド交通の導入を望む声が複数挙げられた。Nーバスの運賃について、無料化を望む声もあった一方で、値上げを行うことでサービスの充実化を求める声もあった。

○スケジュール（予定）○

R6	R7	R8	R9	R10
実験1	実験2	検討	本格運行	

※Nーバス再編もR9年度に実施予定